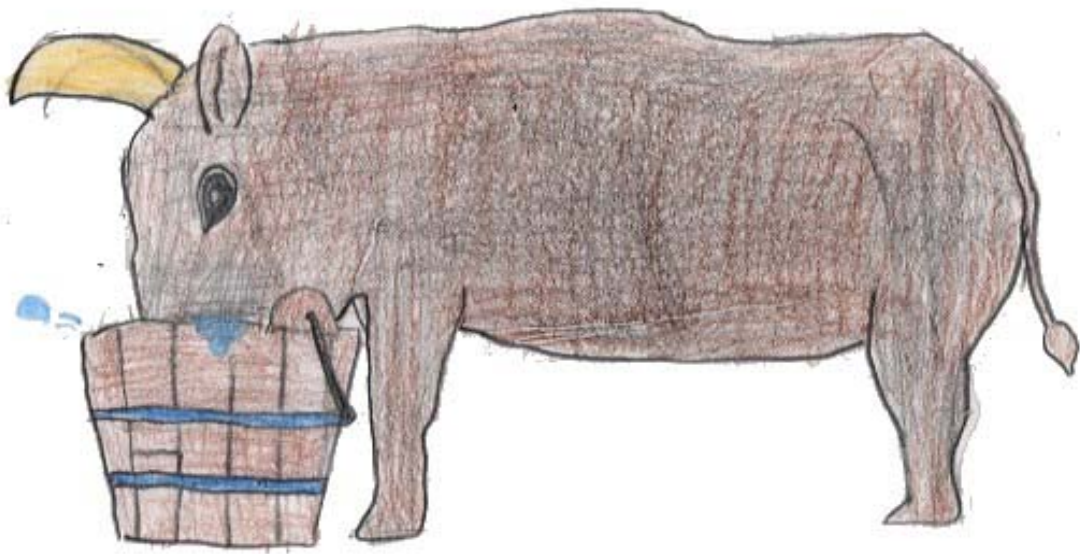


但馬の牛

病気にさせないようにする工夫

それは、毎日毎日『新せんな水』や、『えさをたくさんあたえる』ことです。また、『日光浴』をさせたり、牛の体を『ブラッシング』したり『運動』もさせて元気に、育てているそうです。これは、新せんな水を牛が、飲んでいる所のぼくの予想図です。見てください。



運動といっても山を毎日おうふくするんだそうです。それに、おうふくしているうちに足が強くなるんだそうです。それなのに、骨が、細くしぼうが少ないんだそうです。

おうふくとは、山をいったりきたりいったりきたりすることです。



<感想>

ブラッシングをしている時の写真を見てブラシで、牛の毛をとくのはたいへんなんだなあーとおもいました。それにぼくなら2・3日で、することをさぼってしまうと思います。

でも、但馬の牧場の人たちは、きちんとこなしているののでおいしい肉ができるんだと思います。

但馬牛が三田牛・松坂牛の素牛（親牛）なんだそうです。

【R. Y】

つる牛について

つる牛とは、但馬牛のおいしさのひみつです。
長く長くのびるつるのようにとってもおいしい、牛の血が
代々つながれているのです。

この写真は、牛たちが放牧
で日光浴をしている所です。
日光浴もおいしさにつながる
大事なことです。



私が但馬牛を調べて分かったことは、たくさんあります。病
気にならせないようにする工夫について、牛を飼っている肥
育農家について、但馬牛のおいしさのもととなるつる牛な
ど、について調べました。但馬の特産物の事を1つ知れてよ
かったと思いました。

【A. Y】

おす牛はどんな働きをするか？

おす牛は、2つのタイプがあります。1つ目は牛肉になる
肥育牛です。肥育牛とは、牛肉になるおす牛のことです。2
つ目は、種牛です。種牛とは、子供を産むためのせいえきを
分ける働きをするおす牛のことです。

この写真は、但馬の牛が歩い
ている所です。

但馬の牛はいつも、草原にい
ます

私は、但馬の牛肉のことにつ
いて調べました。

分かったことは、おす牛は2
つのタイプが、あるという事
が分かりました。

種牛と牛肉になるおす牛がいる事が分かりました。それと、
子供を産むために、せいえきを分けるということも分かりま



した。
但馬牛のことについて、調べて色んなことが、分かったから、この、但馬牛を調べてよかったなあ～と思いました。私は、調べることが、とてもおもしろかったです。

私は、『おす牛は、どんな働きをするか？』

について、調べて、おす牛のことがいろいろ分かり、おす牛にかんしては、ほぼ分かりました。おす牛を調べて、よかったなあ～と思いました。 (Y. T)